

第66回日本伝統工芸展京都展の開催について

- ・ 特別展示「わざを伝える」ー漆芸、木竹工ー
- 人間国宝のまえふみお前史雄氏「ちんきん沈金」、かつしろそうほう勝城蒼鳳氏「竹工芸」の紹介
- ・ 人間国宝ほか工芸作家が各部門の作品を解説

- 1 主催 京都府教育委員会、京都市、NHK京都放送局、朝日新聞社、日本工芸会
- 2 後援 京都府、京都市教育委員会
- 3 協賛 パナソニック株式会社
- 4 会期 令和元年10月9日（水）～10月14日（月・祝）
午前10時～午後8時（10月14日は午後5時で閉場）
- 5 場所 京都高島屋7階グランドホール
京都市下京区四条河原町西入 電話 075-221-8811（代表）
- 6 入場料 一般500円（300円）、大学生以下無料
- 7 作品 陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の297点
- 8 受賞者 文部科学大臣賞 かい こうたろう甲斐 幸太郎氏「せんぶきうるしきんぞくき栓拭漆三足器」大阪市在住
日本工芸会奨励賞 たけべ ゆきこ武部 由紀子氏「ししゅうきもの刺繍着物「あはひの空」」大阪市在住
日本工芸会新人賞 きた よしこ北 芳子氏「もくしんとうそぬのかみばり はる よい木芯桐塑布紙貼「春の宵」」大阪市在住
- 9 解説

10月9日（水）	午後2時	陶芸	府無形文化財保持者	石橋 裕史
10日（木）	〃	染織	重要無形文化財保持者	北村 武資
11日（金）	〃	金工	金工作家	山本 夏頭
12日（土）	〃	木竹工	重要無形文化財保持者	村山 明
13日（日）	午後2時	漆芸	漆芸作家	岸本 圭司
	午後3時	人形	人形作家	岡 弘美
14日（月）	午後2時	諸工芸	截金作家 府無形文化財保持者	中埜 朗子 渡邊 明

- 10 開会式 令和元年10月9日（水）午前9時40分～ 京都高島屋7階グランドホール前
 - ・主催者挨拶 橋本幸三 京都展実行委員長（京都府教育委員会教育長）
 - ・来賓挨拶 京都府知事
 - ・テープカット
 - ・人間国宝ほか工芸作家多数出席予定
- 11 特別企画 自作を語る
 - ・11日から13日まで各日午前11時から開催
- 12 問合せ先
文化財保護課美術工芸・民俗・無形文化財担当
(担当：岸岡副課長、向田副主査) 電話 075-414-5905



日本工芸会奨励賞
刺繍着物「あはひの空」
武部 由紀子



文部科学大臣賞
栓拭漆三足器
甲斐 幸太郎



日本工芸会新人賞
木芯桐塑布紙貼
「春の宵」
北芳子

第66回 日本伝統工芸展 京都展

2019年10月9日(水) → 14日(月・祝) / 京都高島屋 7階グランドホール

ご入場時間=午前10時～午後7時30分(午後8時閉場) ※最終日10月14日(月・祝)は午後4時30分まで(午後5時閉場)

入場料(税込)= 一般500円(300円) / 大学生以下無料

主催=京都府教育委員会、京都市、NHK京都放送局、朝日新聞社、日本工芸会 後援=京都府、京都市教育委員会 協賛= Panasonic

※()内は前売り及び団体10名様以上の割引料金。前売券は京都高島屋7階商品券サロンにて9月16日(月・祝)から10月8日(火)までお求めいただけます。

※当催については、「障がい者手帳」をご提示いただいたご本人様、ならびに、ご同伴者1名様まで入場無料とさせていただきます。

※安全のため、小学生以下のおこさまは必ず保護者の方ご同伴でご入場ください。

*トワイライトサービス：午後6時から半額。

日本工芸会ホームページ <http://www.nihonkogeikai.or.jp/>



Takashimaya KYOTO
TEL (075) 221-8811

日本伝統工芸展 京都展

2019年10月9日(水)→14日(月・祝)

京都高島屋7階グランドホール

ご入場時間=午前10時~午後7時30分(午後8時閉場)

※最終日10月14日(月・祝)は午後4時30分まで(午後5時閉場)

我が国には、世界に卓絶する工芸の伝統があります。伝統は、生きて流れているもので、永遠に変わらない本質をもちながら、一瞬もとどまることのないのが本来の姿であります。伝統工芸は、単に古いものを模倣し、従来の技法を墨守することではありません。伝統こそ工芸の基礎になるもので、これをしっかりと把握し、父祖から受けついで優れた技術を一層錬磨するとともに、今日の生活に即した新しいものを築き上げることが、我々に課せられた責務であると信じます。昭和25年、文化財保護法が施行され、歴史上、若しくは芸術上特に価値の高い工芸技術を、国として保護育成することになりました。私も、その趣旨にそって、昭和29年以来陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の7部門にわたり、各作家の作品を厳重鑑査し、入選作品によって日本伝統工芸展を開催してきました。

このたび、第66回展(令和元年度)を開催し、広く人々の御清鑑を仰ぎ、我が国工芸技術の健全な発展に寄与しようとするものであります。重要無形文化財保持者、受賞作家、近畿在住作家の作品を中心に、入選作品約300点を一堂に展覧いたします。



日本工芸会総裁賞
かもんおぼち つばき
花文大鉢「椿」望月 集



高松宮記念賞
どろゆうしっぽうはないれ りつ
泥釉七宝花入「律」河田 貴保子



東京都知事賞
ちんきんかざりばこ ひとよ
沈金箱飾「一夜」鳥毛 清



NHK会長賞
いろきりがほきえかんしつばこ つきのいん
彩切貝時絵乾漆筒「月の韻」三好 かがり



朝日新聞社賞
すずしきもの うみのなかのできごと
生絹着物「海の中のできごと」神谷 あかね



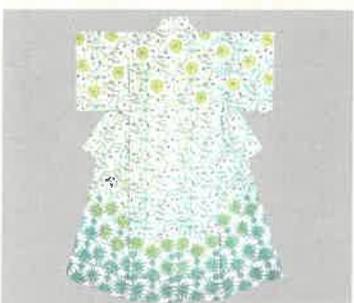
日本工芸会会長賞
ふきわけちようほうばん
吹分長方盤 般若 泰樹



日本工芸会保持者賞
ちんきんばこ ばいかうつき
沈金箱「梅花空木」西 勝廣



日本工芸会奨励賞
ゆうびうさいゆきざきもんとうばこ
釉描彩雪笹文陶筒 井口 雅代



日本工芸会奨励賞
かたえぞめきもの はるのはじまり
型絵染着物「春のはじまり」岩井 香楠子



日本工芸会奨励賞
はつかだいこんかなぐ
二十日大根金具 藤江 聖公



日本工芸会奨励賞
すなごふろさきびょうぶ
砂子風炉先屏風 長岡 達雄



日本工芸会新人賞
はちこうはくせんしやよういちきゅうまるなな
鉢「紅白鮮斜陽-1907-」増原 嘉央理



日本工芸会新人賞
きせきりこばち ちようりゅう
被切子鉢「潮流」小林 昂平

■ 列品解説

10月 9日(水) 午後2時 陶 芸 石橋 裕史

10日(木) 午後2時 染 織 北村 武資

11日(金) 午後2時 金 工 山本 夏頭

12日(土) 午後2時 木竹工 村山 明

13日(日) 午後2時 漆 芸 岸本 圭司

午後3時 人 形 岡 弘美

14日(月・祝) 午後2時 諸工芸 中塾 朗子/
渡邊 明

■ 特別企画 受賞作家が自作を語る

各日午前11時から

10月11日(金) 人 形 北 芳子

12日(土) 木竹工 甲斐 幸太郎

13日(日) 染 織 武部 由紀子

■ 特別展示 わざを伝える「沈金」「竹工芸」

文化財保存事業報告

 **Takashimaya** KYOTO

TEL (075) 221-8811